

# ふくし 9 月号



赤羽根家 © 中央共同募金会

# とちぎ September 2023 No. 510

- 発行/社会福祉法人栃木県社会福祉協議会  
〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028(622)0524 / FAX 028(621)5298
- 編集・デザイン/有限会社随想舎
- 発行日/令和5年9月10日
- ホームページ/ <https://www.tochigikenshakyo.jp/>



壬生町の  
就労支援施設  
「むつみの森」では、  
心をこめた商品  
づくりが行われて  
います

地元の農産物を  
使ったジャムの  
ほか、多彩な商品が  
作られています

<b>も</b>	<b>特集</b> 大人気「シルバニア森のキッチン いちごジャム」	2
<b>く</b>	野木町災害ボランティアセンター活動報告	6
	本社役員体制の報告について	6
<b>じ</b>	栃の実基金知事感謝状贈呈式	7
	佐野市社会福祉協議会地域福祉活動拠点整備事業	7
	福祉人材・研修センター、とちぎ保育士・ 保育所支援センターからのお知らせ	8
	10月1日より共同募金運動が始まります!	10



この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成により発行しています。

「ふくしとちぎ」の1面を飾る写真を読者の皆様から募ります。  
テーマは「福祉」に関するものです。とっておきの1枚をぜひお寄せください。



「はたらく」を応援する壬生町就労支援施設「むつみの森」

**特集**

\*\*\*大人気\*\*\*

壬生町 就労支援施設「むつみの森」で製造  
「シルバニア森のキッチンスイーツショップ」で販売  
「シルバニア森のキッチン いちごジャム」

壬生町の「道の駅みぶ みぶハイウエーパークみらい館」に、今年3月25日、「シルバニア森のキッチン ちいさなスイーツショップ」道の駅みぶ店」がオープンしました。その目玉商品が同町内の就労支

援施設「むつみの森」で製造した「シルバニア森のキッチン いちごジャム」。町内産イチゴの「とちおとめ」と「とちあいか」を独自の割合でブレンドしました。優しい味がみんなに幸せを運びます。

「はたらく」を応援  
「むつみの森」の事業

壬生町就労支援施設「むつみの森」（壬生町壬生丁）は、一般就労に向けた職業訓練を行う「就労移行支援」と、障がいのある人が日中活動の場として訓練に携わる「就労継続支援B型」に取り組み施設です。「みなさんの『はたらく』を応援します！」をスローガンに各種事業を手がけています。平成15（2003）年から運営が始まり、現在、壬生町内の24人が利用しています。

事業内容としては、壬生町清掃センターから委託を受けた「ペッ

事業の大きな柱  
食品の製造・販売

トボトル圧縮処理事業」や、町内の住民や企業から寄せられた空き缶をアルミン缶、スチール缶に分けて圧縮する「空き缶プレス事業」、企業から受注して製品・部品の組み立て・加工を行う「室内作業」、アイロンビーズを使ったキーホルダーを製造・販売する「自主生産事業」などがあります。

さらに大きな柱となっているのが、各種食品の製造・販売です。

施設の運営が始まった時に給食事

業を行っており、その設備が活用



壬生町清掃センターから委託を受けた「ペットボトル圧縮処理事業」

できたことが、食品関係を扱う大きな契機となりました。  
食品類の主力商品は、壬生町内で生産される果物や野菜を素材にした無添加で安全安心な各種ジャム類です。「とちおとめ」を使った「むつみの森手作りいちごジャム」をはじめ、フランス料理の音羽シェフが監修した「生いちごジャム」、最近生産が増えてきたイチゴの「とちあいか」を使った「Dono愛果」などが人気です。そのほか、ブルーベリー、トマト、ゆずや、季節限定で梨やリンゴの



アルミ缶、スチール缶に分けて処理する「空き缶プレス事業」

また、ジャム類のほか、代々の壬生藩主がお茶をたてる際に使用したといわれる「御茶ノ水」と同じ地下水で栽培したコシヒカリ「お殿様のお米」や、「むつみの森手作りいちごジャム」をやわらかな生地に練り込み、長期保存ができる「缶詰パン お殿様の兵糧」など、ユニークな商品もそろって

買ったてくれる人の  
笑顔に励まされる

ジャムも販売します。



「むつみの森」が製造・販売する食品類

います。

利用者の人たちは、職員と一緒に、こうした食品類の製造や容器のラベル貼りなどに携わっています。できるだけ機会を見てつけて直接販売の場にも赴き、消費者と交流を深めています。神永久子施設長は「利用者にとって、買っていただけの皆さんの笑顔が何よりも励みになります。工業系の仕事とはまた違うやりがいにつながっているようですね」と評価しています。



できたジャムに丁寧にラベル貼り

協力してくれる。  
農家に心から感謝

ジャム類に使う果物や野菜類は、地元の農家の人たちの協力で、市場に出せない規格外品などを提供してもらっています。特にイチゴはシーズンの終盤に、町内のイチゴ生産者から声がかかり、職員がハウスを訪れて無料で収穫させてもらっています。

それを冷凍しておいて、適宜、製造に活用しています。「施設の運営も厳しい中、農家さんの支援



新商品づくりの苦勞を話す神永施設長と岩田副施設長

は本当に助かります。近くには環境があつてこそできる事業でもあるのです」と神永施設長は感謝します。

### ショップの目玉商品 開発への取り組み

こつした中、持ち上がったのが、「シルバニア森のキッチン ちいさなスイーツショップ 道の駅みぶ店」のメインとなる商品開発の話でした。

エポック社の「シルバニアア



使ったものの後片付けも重要な仕事

「ミラー」シリーズは、壬生町内のおもちやのまちで製造されています。壬生町おもちや博物館にも関連したグッズ類が展示されています。この縁から「道の駅みぶみぶハイウェイパークみらい館」にスイーツショップがオープンすることになったのです。



冷凍していたイチゴをジャムにするために準備

「ほかにないもの」ということで、壬生町の特産でもあるイチゴを用いた新しいジャムづくりに挑戦することになりました。オリジナル性を打ち出すために、古くから栃木県の主力品種の地位を築いてきた「とちおとめ」と、近年、急速に普及している「とちあいか」

### 2品種をブレンド オリジナル商品へ

ショップの目玉となる商品を開発してほしいとの意向がもたらされました。「既存のものにないオリジナル商品をつくってほしい」というのが依頼の趣旨でした。あまり時間もない中、神永施設長と岩田恵美子副施設長の奮闘が始まりました。

### 何度も重ねた試作 配合の割合は「秘密」

をブレンドすることを思いつきました。どちらも栃木県のオリジナル品種。壬生町内での生産も盛んで、素材が手に入りやすい利点もあります。

「とちおとめ」と「とちあいか」の配合をどうするかが一番悩んだところでした。神永施設長と岩田副施設長の二人で、何度も何度も試作、試食を繰り返したといいます。できたものをエポック社に送って検討してもらっている間にも、また、新しいものを作って試食するという作業の連続でした。砂糖の量をどうするか、イチゴ



出来上がったジャムを瓶詰め

の粒々感を残すためにはどうするか、工夫のしどころはたくさんありました。満足できるものに仕上がるまでには、数カ月かかったそうです。「配合の割合は企業秘密です」と二人は満足そうな笑顔を見せます。

すつきりした甘サ  
果肉感も魅力

こうして完成した「シルバニア森のキッチン いちごジャム」。すつきりとした甘みが特長で、イチゴの果肉感もしっかりと味わえます。ラベルには「シルバニアファミリー」のシヨコラウサギの女の子「フレア」が、イチゴを掲げるかわいいイラストが描かれています。「むつみの森」の利用者の人たちが一つひとつ丁寧に製造し、しっかりとラベルを貼って送り出しています。

「道の駅みぶ みぶハイウェイパーク」は、一般道からも高速道路の北関東自動車道からも立ち寄ることができます。近くには壬生

町おもちゃ博物館や、とちぎわんぱく公園など、親子で楽しめる施設があり、栃木県ばかりでなく他県からもたくさんの方々が訪れています。

県内外から訪れる  
たくさんの方々が

「シルバニアファミリー」の人氣は高く、3月のショップの開設以来、たくさんの方々が訪れています。「シルバニアファミリー」



人気商品となった「シルバニア森のキッチン いちごジャム」

のブランドショップは全国各地にあります。スイーツショップはここだけのことです。

この中で「シルバニア森のキッチン いちごジャム」は、製造する「むつみの森」でも販売しておらず、このショップでしか手に入りません。わざわざ買いに来る熱心なファンも多く、ショップのトップクラスの売り上げを誇る人気商品となりました。



県外からのファンもたくさん訪れるスイーツショップ

関係者が連携して  
実現した取り組み

「シルバニア森のキッチン いちごジャム」づくりは、道の駅を運営する壬生町、「シルバニアファミリー」のエポック社、製造を担う「むつみの森」、イチゴ生産者の連携の中で実現したプロジェクトです。この輪のどれが欠けても成功しなかったことでしょう。

神永施設長は「今回の商品開発を通して、『むつみの森』の名前が、かなり認知されるようになってきました。納品などに行くと『頑張っ てね』と声をかけられることも増えてきて、利用者のモチベーションにつながっています。今後もさらに地域との連携を深めていきたいと思っています」と話しています。



壬生社協 facebook



壬生町社協 HP

## 「野木町災害ボランティアセンター活動報告」

令和5年7月10日（月）の夜、野木町など栃木県南部で突風が発生し、住宅の屋根が飛ばされたり、木が倒れたりする被害が発生いたしました。

被害を受け、同日に、野木町は災害対策本部を設置、翌日11日（火）に野木町社協は野木町災害ボランティアセンター（以下、災害VC）を設置しました。

町内のボランティア希望者や近隣の小山市社協、茨城県結城市社協の応援職員を中心に、延べ137名の方が破損した物置や瓦の撤去、雨に濡れた畳・家具の搬出、運搬などのボランティア活動を行いました。本会においても、野木町災害VCに職員を派遣し、状況確認や運営支援を行いました。

多くの方々の御協力により、野木町災害VCは7月25日（火）に閉所し、閉所後も引き続き生活に関する相談を受け付けています。



### ・ボランティア活動者数

延べ人数 137人

### ・ボランティア活動依頼件数

依頼件数 37件

完了件数 37件（ボランティア活動外も含む）

## 本会役員体制の報告について

令和5年7月4日に開催された理事会により、本会役員体制が決まりましたのでご報告いたします。

任期：令和5年6月26日～令和6会計年度に関する定時評議員会終結の時

	役名	氏名	所属機関・団体の役職名
1	会長	関根 房三	学識経験者
2	副会長	麦倉 仁巳	栃木県身体障害者団体連絡協議会会長
3	副会長	大野 稔	高根沢町社会福祉協議会会長
4	副会長	島田 次秀	栃木県民生委員児童委員協議会会長
5	常務理事	篠崎 和男	常務理事
6	理事	手塚 英和	宇都宮市社会福祉協議会会長
7	理事	小林 一成	栃木市社会福祉協議会会長
8	理事	風間 嘉信	栃木県保育協議会会長
9	理事	菊地 達美	栃木県障害施設・事業協会会長
10	理事	菊地 月香	栃木県社会福祉法人経営者協議会会長
11	理事	小西 久美子	栃木県ボランティア連絡協議会会長
12	理事	桶田 正信	栃木県老人クラブ連合会会長
13	理事	水沼 忠雄	栃木県市長会事務局長
14	理事	野澤 敏光	栃木県町村会事務局長
15	理事	池本 喜代正	宇都宮大学名誉教授
16	理事	田口 裕之	栃木県経済同友会事務局長
17	理事	岩佐 景一郎	栃木県保健福祉部長
18	監事	深谷 卓男	日本公認会計士協会東京会栃木県会顧問
19	監事	中川 雅之	栃木県共同募金会常務理事兼事務局長

令和5年7月4日  
理事：現員数 17名  
監事：現員数 2名

# 栃の実基金知事感謝状贈呈式

令和5年7月10日(月)、  
栃木県公館大会議室において、  
昨年度ご寄附をいただいた方に対する  
栃木県知事の感謝状贈呈式が行われました。

本会の関係としては、栃木  
県地域福祉振興基金(愛称: 栃の実基金)に高額のご寄附  
をいただいた方に感謝状が贈  
呈されました。

貴重なご寄附を賜りありが  
とうございました。

いただいたご寄附は、県内  
の地域福祉やボランティア活  
動の推進のため、大切に活用  
させていただきます。



感謝状贈呈者・団体(順不同・敬称略)

- ・全国マツダ労働組合連合会
- ・東洋羽毛北関東販売株式会社栃木営業所
- ・株式会社アロー商会
- ・公益社団法人JA-FFA栃木県協会
- ・栃木県歌謡協会
- ・一般社団法人東北再生可能エネルギー協会

## 佐野市社会福祉協議会

### 地域福祉活動拠点整備事業

佐野市社会福祉協議会では、地  
域福祉活動を行う団体の組織化、  
団体の活動拠点となる施設の整  
備、活動する際の備品等の支援な  
ど、住民の地域福祉活動への参加  
促進と、活動環境の整備を図り、  
住民による主体的な福祉活動の活  
性を目的として、令和元年度よ  
り地域福祉活動拠点整備事業を開  
始しました。

本事業は主に3つの支援内容で  
実施しました。

①団体の組織化として、市内の地  
区社会福祉協議会の18地区を単  
位として、これまでに11地区の  
団体に支援をしてきました。今  
年度については、2地区の団体  
の支援を予定しております。目  
標にしていた全18地区の団体へ  
の支援にはまだ届いていません  
が、多くの地区の支援ができた  
と思います。

②活動拠点の整備として、パソコ

ンやプリンター等の事務用品や  
物置の設置が主でしたが、通知  
や資料作成の効率化が図れるな  
ど、地域住民の地域福祉活動へ  
の主体的参加と活動の安定につ  
なぐことができたと思います。

③活動の支援として、活動パンフ  
レットや情報紙の作成等の支援  
を行い、団体の活動が地域住民  
に広く周知でき、団体活動がス  
ムーズに行えるように支援でき  
たと思います。

今後も、地域における福祉活動  
の発展を図っていくために、地区  
社会福祉協議会や地域の福祉団体  
への支援を  
続けてい  
き、福祉活  
動の活性化  
につなげて  
いけたらと  
思っています。



活動拠点の整備の様子

## 福祉・介護職スタート講座

現役の職員から仕事の内容ややりがい等をお話しいただけます。

就職活動での不安や疑問を直接職員の方に聞けるチャンスです。

### 開催日時及び講座

第4回 10月21日(土)【サ高住・訪問介護のお仕事】

第5回 11月17日(金)【障害者福祉施設 // 】

第6回 12月9日(土)【デイサービス・生活相談員 // 】

第7回 1月20日(土)【小規模多機能型居宅介護 // 】

**開催時間** 10:00～12:00 (第4・6・7回)

10:00～12:15 (第5回)

**開催場所** とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)

※第5回 見学先施設(那須塩原市)

## 保育のお仕事スタート講座

保育現場に必要な知識・対応方法を学べます。スタート講座に参加し、保育施設への就職の第一歩を踏み出した保育士さんがたくさんいます。いつか保育士に……の夢を、ここから初めてみませんか？

### 開催日時及び講座

11月7日(火) 10:00～12:00【幼児安全法講習】

13:00～15:00【幼児音楽講座】

**開催場所** とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)

### 託児あります

6ヶ月～就学前のお子さまが対象です。(要予約)

【問い合わせ】 社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター／とちぎ保育士・保育所支援センター  
[TEL] 028-643-5622 [FAX] 028-623-4963 / [TEL] 028-307-4194 [FAX] 028-623-4963

## 本会広報誌「ふくしとちぎ」発送封筒へのチラシ同封について

本会会員サービスの一環として、本会広報誌「ふくしとちぎ」を送付する際に、有料でチラシ等を同封いたします。

下記のとおり実施いたしますので、ご希望等ございましたら本会総務企画課までお問い合わせください。

### 1 内容

本会広報誌「ふくしとちぎ」発送の際に、チラシ等を同封します。

(時期・回数) 奇数月(5・7・9・11・1・3月) 10日頃(年6回)

(部数) 約1,200部(施設・企業・学校・個人の会員等、「ふくしとちぎ」1部のみを送付するところへの同封)

※各市町・市町社協等、大口で発送するところは除く。

### 2 募集するチラシの条件

以下の条件①～②をすべて満たすこととします。

①「ふくしとちぎ」の読者(福祉施設、福祉関係者等)に有益な内容のもの。

②A4版1枚のもの(三つ折りにして納品してください)。

### 3 料金

1部5円(令和5年9月1日現在)

### 4 発送までの流れ

①発行月の前月(偶数月)10日までに、同封したいチラシの原稿を本会まで送付してください。

②本会で内容等を確認し、同封の可否をお伝えいたします。

③同封可能な場合は、1,200部(A4・三つ折りしたもの)を本会まで納品してください。

④発送後、実績に応じて請求書を送付いたしますので、料金をお支払いください。

※誌面や他の発送物の状況等により、ご希望の号に同封できない場合があります。

お問い合わせ先

社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会 総務部総務企画課 「ふくしとちぎ」担当

TEL 028-622-0524 FAX 028-621-5298



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



## 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



## ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)

令和5年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、  
障害者支援施設、  
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で  
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である  
社会福祉法人等が運営する社会  
福祉施設です。

## プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033から抜粋)

# 10月1日より共同募金運動が始まります！



**募金目標額**  
**2億8473万6000円**

配分計画について、  
詳しくはこちら



## 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」お住まいの町のさまざまな福祉活動や、防災・減災のために活用されています。例えば、保護者が育児の悩みを共有したり、子どもたちが自由に交流できる子育てサロン、地域住民と子どもたちがコミュニケーションを取りながら食事を楽しめるこども食堂、ひとり暮らしの高齢者の見守りなど、地域みなさんが自主的に取り組む、町を良くする活動に活用されています。

●赤い羽根は、地域のこんなところで活用されています！●

茂木町社会福祉協議会



日常のちょっとした困りごとをお手伝いする簡易家事援助サービスを行い、それを通して見守り活動を実施することができました。介護保険サービスでは対応できない掃除をしてほしいといったニーズが多く、高齢者世帯や障がい者世帯では、自力でできない掃除の対応をして喜んでいただけました。また、ボランティアとお話することもとても楽しみにされていて、見守り活動としても喜ばれています。

今後もこの善意に感謝しながら、活動していきたいと思っています。ありがとうございました。



スマホからも  
募金できます！

クレジットカードやコンビニ、  
ペイジー等で決済できます！



あなたの町の赤い羽根の  
支援活動、知っていますか？



お問い合わせ **社会福祉法人栃木県共同募金会**

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内 TEL:028-622-6694 FAX:028-625-9643